

委託事業実施内容報告書

平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日系人等を活用した日本語教室の設置運営】

受託団体名 日本ペルー共生協会

1 事業の趣旨・目的

スペイン語しか理解できないペルー及びラテンアメリカ出身者及び「十分ではないスペイン語(母語)、十分ではない日本語」と言ったあやふやな環境の中で困っている日本育ちのペルー及びラテンアメリカ出身者の子どもを、彼らのアイデンティティーを守りつつ個々人に適切な支援を行い、日本及び出身国双方の社会に貢献できる人材の育成を目指す。特にこの事業では子どものスペイン語に付随して日本語の力が伸びていくような授業作りにも配慮している。また親が共に学ぶことによって子どもの学習意欲が高まるように計画した。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
12月20日	富士見文化会館	清水貴恵 奥谷規子 中沢英利子 村松新治 川合胤臣 アルベルト・パラシオス カレン・ビオレタ 高橋悦子	・日本語教室の全体像 ・運営の方針 ・教室内でのスペイン語、日本語使用の場面の確認 ・親教室、子ども教室の時間帯の確認 ・使用教材の話し合い ・準備担当者の確認 ・教材印刷のための打ち合わせ	・場面、時間により親子の時間を同時、別々に分ける ・アシスタントをその日ごとに親、子どもの担当を事前に決めてスケジュール表を作成 ・教材は村松、川合が事務所で印刷 ・はじめに親、子どものレベルをある程度把握するためにチェックを行う (子ども:カレン、高橋 大人:奥谷)

1月11日	富士見文化会館	清水貴恵 奥谷規子 永友なみえ 中沢英利子 村松新治 川合胤臣 アルベルト・パラシオス カレン・ビオレタ 高橋悦子	・指導内容の確認 ・アシスタントの今後の配置の打ち合わせ ・大人、子ども共にレベルの異なる人たちへの指導の方針の確認 ・前回欠席した人への対応の方法 ・研修生の指導方法の反省と今後に向けて ・使用教材の準備の確認	・協働学習を主体に教室運営を行うので、親子共に受講者のレベル別でのクラス分けは行わない。お互いが教えたり教えられたりすることで学んでいくことの再確認 ・必要以上に「通訳」をしないで支援をする ・場面によってはじっと見守って生徒自ら学ぶことへの指導を十分心がける ・コンビニでのコピーは経費がかさむのでなるべく教材は2日前までにメールで送信して印刷に間に合わせる
-------	---------	---	---	---



【写真】運営委員会

3 研修講座の内容について

- (1) 日本語教室名: AJAPE(アハペ)親子日本語教室
- (2) 事業の目標:

日本の学校内で使用する日本語の学習を行う。初めにスペイン語で日本の学校教育の制度、行事などを説明して理解を深めたあとでそれに関する日本語の学習を行う

- (3) 受講者の総数 42 人
(4) 開催時間数(回数) 4 時間 (12 回)
(5) 参加対象者の要件: 日本の学校教育に興味のある人
(6) 受講者の募集方法: インターナショナルプレス(日本国内のスペイン語新聞)への広告、
口コミ、チラシ郵送(下記にチラシ添付)



文化庁委託

AJAPE

親子日本語教室

Actividad Comisionada por la Agencia de Asuntos Culturales del

Japón

a AJAPE para "La Educación de Padres e Hijos en el Idioma

Japonés".

La agencia de asuntos culturales del Japón a comisionado a AJAPE la realización de un cursillo para capacitar a niños de primaria y a sus padres en el idioma Japonés. Se invoca a que se inscriban aquellos que reúnan este requisito (el niño debe ser de shougakkou) y

puedan atender todas las sesiones. Las clases se llevaran a cabo los domingos en la ciudad de Yamato de la prefectura de Kanagawa. Cada sesión será de 5 horas, para un total de 12 sesiones. El número de participantes esta limitado a 15 pares de padres e hijos. Los miembros de AJAPE tendran preferencia en el proceso de inscripción. Si los inscritos exceden este número, se realizara un sorteo para determinar

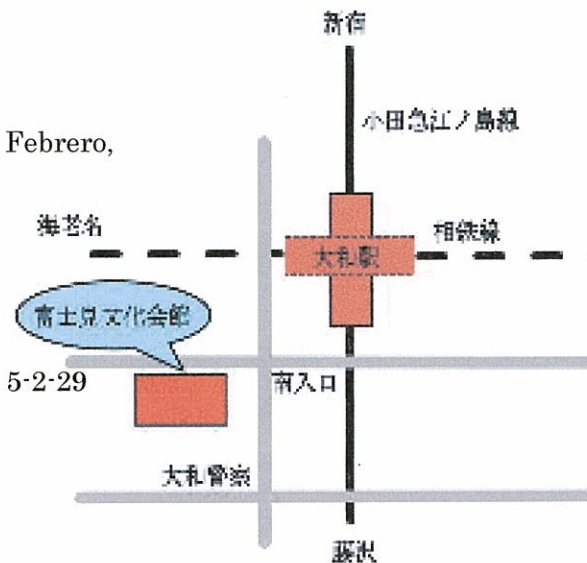
* Los participantes. La fecha límite para inscribirse es el 15 de Diciembre.

* Breve descripción del contenido del cursillo

A los niños se les entregará una hoja de trabajo en las cuales explicaran su vida escolar.

A los padres se les explicara sobre la vida en los colegios en español. Luego de ello, se les explicara sobre las palabras que se usan en diferentes actividades escolares. Se realizaran las clases usando métodos gráficos, para aprender el lenguaje y la cultura asociados con esa información. En la parte final del curso se realizarán clases de intercambio con padres e hijos. Estas clases se realizarán en español para reforzar el aprendizaje en este idioma.

- * Número de participantes: 15 pares de padres e hijos.
- * Primera clase orientación: 21 de Diciembre del 2008
- * Clases restantes: 11, 18 y 25 de Enero, 1,8,15 y 22 de Febrero, y 1, 8 , 15 y 22 de Marzo del 2009. De 9:00 a 14:00
- * Costo: 2,000 yenes (costo del material a repartir)
- * Organiza: Organización sin fines de lucro, AJAPE (Asociación Japonés Peruana)
- * Fujimi Bunka Kaikan de Yamato :Yamatoshi Tyuuou 5-2-29
- * Información detallada: Sra. Etsuko Takahashi (celular: 090-7834-6653).
Página Web: <http://ajape.org/>



(7) 研修会場 大和市富士見文化会館

(8) 使用した教材・リソース:教師手作りのプリント類

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
12月21日 9:00～ 14:00	オリエンテーション 日本語学習について 自己紹介、紹介カードの記入	清水 貴恵 奥谷規子 永友なみえ	親 19名 子 15名
1月11日 9:00～ 14:00	親:他己紹介、文字 子:出身、住所、時間、冬休み、読み聞かせ(十二支のおはなし)、二言語で書く 今年の目標	清水貴恵 奥谷規子 永友なみえ	親 18名 子 15名

1月18日 9:00～ 14:00	親:日本の学校 子:教室の仲間調べ 名前、グラフの描き 方	清水貴恵 奥谷規子	親 9名 子 14名
1月25日 9:00～ 14:00	親:家庭環境調査票 を書く 子:自分の学校紹介	清水貴恵 奥谷規子 永友なみえ	親 12名 子 8名
2月 1日 9:00～ 14:00	親:学校の日 子:学校行事	奥谷規子 永友なみえ	親 12名 子 15名
2月 8日 9:00～ 14:00	親:学校の一年 子:仕事、いろいろな 職業	清水貴恵 奥谷規子 永友なみえ	親 12名 子 16名
2月15日 9:00～ 14:00	親:連絡について(方 法とその書き方) 子:いろいろな仕事、 読み聞かせ(びっくり ハンダのプレゼント) まとめ、ゲストティ チャーによる授業	清水貴恵 佐々木倫子(子どもクラ ス・ゲストティチャー)	親 7名 子 8名
2月22日 9:00～ 14:00	親:学校に電話す る、病気の症状の表 現 子:お友達へメッセ ージ、ペルーの祝祭日	清水貴恵 奥谷規子	親 10名 子 14名
3月1日 9:00～ 14:00	親:連絡票を読む 子:先週のニュース、 振り返り、発表につ いての話し合い	奥谷規子 永友なみえ	親 8名 子 14名
3月8日 9:00～ 14:00	親:家庭訪問での日 本語 子:ペルー独立記念 日の話、グループ発 表の用意	清水貴恵 奥谷規子 永友なみえ	親 5名 子 10名

3月15日 9:00～ 14:00	親:保護者会での日 本語 子:手紙を書こう、グ ループ発表の準備、 ピニャータについて	清水貴恵 奥谷規子 永友なみえ	親 8名 子 12名
3月22日 9:00～ 14:00	親:助詞のつかい方 子:発表の仕上げ、 発表、みんなでピニ ャータ	清水貴恵 奥谷規子 永友なみえ	親 10名 子 18名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

実施はスペイン語にて(高橋悦子翻訳)

アンケート結果

1 新聞で見た	Anuncio en el periódico (IPC)	(7)
2 知り合いから聞いた	A través de conocidos	(4)
3 AJAPE のチラシを見た	Prospecto de AJAPE	(3)
4 AJAPE の Web サイトを見た	Página de Internet de AJAPE	(0)
5 その他(具体的に)	Otros(Escriba concretamente)	(0)

コースに対するコメント

- ・ クラスはとてもいいと思う。ひらがな、カタカナをどのような書き順でどのように書くのかを学習したいと思います。
- ・ 私としては、このクラスに入ることができてとてもうれしく思います。理由は、たくさんのことを学ぶことができる上、言語に関して持っていた疑問が解けるからです。クラスは楽しく日本について以前より多くのことを学んでいますし、新しい友人もできました。このコースが修了した 3 月以降も是非継続して欲しいと思います。皆様の努力に感謝しております。
- ・ このコースはとてもいいと思います。現在のところテーマも構成もとてもよいと思います。子ども達も多くのことを学んでいると思います。
- ・ 現在のところまではとてもいいと思います。
- ・ とてもいいと思いますが、もしできればもう少し時間が長い方がいいと思います。

- ・今日は参加できた2回目でした。仕事の都合で教室に来るのが遅くなってしまいます。妻の話を聞いてみてもこのコースの教授法はとてもいいと思います。
- ・とてもいいと思います。特にとても楽しいです。多くの人、私達のような人間にとって色々な理由があって、今まで日本語を学ぶ機会がありませんでした。でも、学びたいという気持ちはいつも持っていました。今回皆さんが私達や子ども達に与えてくださった機会を利用して多くのことを学び、日本の友人達と今まで以上にもっと交流を持ちたいと思っています。この機会を与えてくださった皆様に感謝いたします。
- ・日本語を知らない人にとって、とても興味のある楽しい上に為になる教室だと思います。
- ・このコースは、とてもよく準備がなされたコースだと思います。
- ・社会の中で普通に能力を高めるためには、日本語の学習はとても大切だと思います。とてもいいコースだと思います。皆さんがんばってください。
- ・とても教育的に優れていると思う。
- ・とてもいいクラスだと思います。また練習はとても為になります。
- ・とても多くのことを学んでいます。皆さんと共に学習できてとてもうれしいです。先生方にも満足しています。
- ・子どもにとっても親にとっても、とてもいいクラスだと思います。私も息子もこのクラスに満足しています。唯一残念なことは、このクラスが3月までで終了してしまうことです。もっと続けばよかったと思います。

② 実施主体からの研修内容結果評価

スペイン語圏の人たちだけを対象にして彼らのアイデンティティーを守りつつ個々人に適切な支援を行うということを試みた。まず今回のこだわりは、学校で使用する日本語に限定する内容をスペイン語で理解してから日本語を教えるという方法を取った。また授業のアシスタントとして養成講座で学習した人達が4人ずつ参加した。

親のコースはまず日本の学校制度、行事、各行事の目的などを母語で説明、ディスカッションをした後でその場面で使用する日本語指導を行った。日本語能力の異なる成人の指導に関してはレベル別のクラス分けを行わない指導方法をとった。10年以上日本に住みながら、ひらがな、カタカナさえも読めないとアンケートに答えた人が約50%いたことである。わからない時の勉強方法等に関しては協働学習スタイルで相互の刺激があり、時には母語を交えながら教えあいの場面が見られた。また学習者の中には独身者、日本の学校教育を受けた経験がない人などもいたが母語を使用しての説明は好評で活発な質問等があった。

こどものクラスは出席が安定せずグループワークやアクティビティを多く取り入れたクラス運営に頭を痛めた。教室の運営を一貫して協働学習、教え込むスタイルではなくアクティビティを通して自ら学ぶという方法をとった。今回のクラスでは、相互の刺激があり、同じコミュニティで他の学校で頑張っている人と知り合うことができ新たな仲間意識が生まれた。学習はこれらのエンパワーメントがあってこそ成り立つものであり苦勞の連続ではあったがそれなりの

一歩を踏み出すことができた。また、子どもについては、親が何回言っても学習しようとしなかったスペイン語や日本語を同じような立場の人がバイリンガルであることを知ると、学習意欲があつという間に高まった。親のがんばる姿を見て、自分も頑張ろうと感じたという感想を書いていた子どもが数名いた。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

今回は、あくまではじめの一歩であった。異なる地域の人との人間関係を構築することができたようである。登校拒否気味の児童生徒が今回のクラスで明るくふるまっている姿を見てまず親が非常に驚いていた。両親からは「A ちゃんの性格は〇〇です。」ではなく、環境が人の性格を変えるのだよねと言われた。それぞれの子どもが十分に自己表現しながら学習できる場が少しでも増えていくための支援を続けていくことができればと考える。

大人の教室に関しては、中にはもう少し日本語学習の教室運営をしてほしいという希望もあった。今回は親子ともに学び、親の学ぶ姿を見ることがこどもの学習意欲向上に役立つと考えてこのようなスタイルにした。スペイン語で相談に応じながら、従来型の日本語学習をもう少し重視した教室の希望者が多いことも感じた。この意見を今後の計画に生かしたいと思う。

(11) 事業の成果

地域での学校において今回学習した人たちがその成果を生かして子どもの先生方と日本語で連絡しようとする姿勢が生まれたと考える。

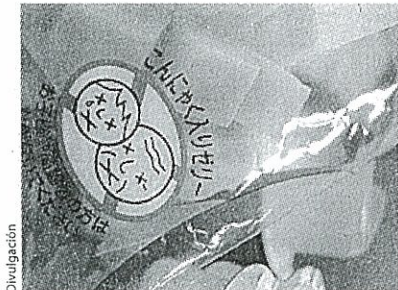
学校で使用する日本語の学習、自分自身のアイデンティティを考えた折の一部としてのスペイン語やスペイン語圏の文化に子どもたちが興味を持ち、アイデンティティを支えた上での日本語学習へ向かう姿勢が高まった。

(12) 今後の課題

学習希望者が地域に潜在的におり土曜日や日曜日だけではなく平日にも学習したいという希望が寄せられていた。今までの地域での日本語学習では

- 1) 一定のレベル以上の学習がなかなか期待できないこと
- 2) 平日に学習する場がない
- 3) 日本語学校では授業料が高く、毎日一定に定められた時間に出席しなければならないスタイルである。
- 4) 指導者が日本語指導の専門知識がない
- 5) 母国語で相談に対応してほしい

などの意見が出されている。それらの意見を考慮したスタイルでの日本語指導を行うことが今後の課題と考える。



Muere un niño al atorarse con gelatina de konnyaku

Una organización de consumidores ha pedido al Gobierno que prohíba la elaboración y venta de gelatina de *konnyaku*, debido al peligro que encierra porque puede atascarse en la garganta fácilmente y provocar la muerte. Este reclamo se produce des-

pués del fallecimiento de un niño de 21 meses la semana pasada. La gelatina que comió era de la marca Manna Life. La compañía anunció que imprimirá con letras más grandes el aviso que advierte sobre el riesgo de atorarse con la gelatina. (IPC)

AGENCIA DE ASUNTOS CULTURALES DEL JAPÓN

NUEVAS ACTIVIDADES DEL PERIODO 2008 PARA LA EDUCACIÓN EN EL IDIOMA JAPONÉS

La Agencia de Asuntos Culturales, una sección del Ministerio de Educación de Japón, ha encargado a **AJAPE** la capacitación de extranjeros que saben el idioma Japonés como consejeros en la enseñanza del mismo. Se invoca a que se inscriban aquellos que reúnan este requisito (el saber el idioma Japonés) y deseen aumentar su nivel profesional. El contenido de la capacitación se detalla a continuación. Si desea información más detallada comunicarse con la Sra. Etsuko Takahashi al celular 090-7834-6653 (español).

Curso de Formación de Consejeros para Extranjeros que saben el Idioma Japonés:

- ① Nombre del curso: Curso de capacitación de consejeros para el uso del idioma Japonés en la vida escolar.
- ② Contenido: Obtención de información necesaria sobre las actividades que se realizan en los colegios, los conocimientos que se necesitan en Japonés para entender estas actividades, para el aprendizaje del idioma Japonés y para entender y explicar el contenido de las comunicaciones y documentos relacionados con estas actividades.
- ③ Requisitos para llevar el curso: Hispanohablantes que puedan leer y escribir el idioma Japonés y que tengan interés en la educación.
- ④ Número de participantes: 15 personas. Si los inscritos exceden este número, se realizará un sorteo para determinar los participantes.
- ⑤ Fechas del curso: Los días sábados del 1, 8, 15, 22, 29 de Noviembre, y 6, 13 de Diciembre.
Son 7 sesiones que se realizarán de 9:30 a 12:30 de la mañana.
- ⑥ Lugar: Ciudad de Yamato, Salón del Centro Cultural Fujimi (Fujimi Bunka Kaikan). A 4 minutos de la estación de Yamato del Odakyu (línea Enoshima) o de los ferrocarriles Soutetsu.
- ⑦ Costo: Sin costo (gratis), solo se recaudará un monto de 3.000 yenes en la primera clase para cubrir los gastos en materiales impresos.

Informaciones: Entidad sin fines de lucro <http://ajape.org/>, e mail: 5997388@gmail.com

AJAPE entregará un certificado a todos aquellos que completen el curso. Asimismo a aquellos que sobresalgan en el curso se les ofrecerá la oportunidad de trabajar como consejeros en cursos de capacitación en el idioma Japonés.

AJAPE

ejemplo. La parte del teclado también podría usarse como un aparato de control remoto.

KETAI PROYECTOR



Otros modelos de concepto de DoCoMo y au incorporan un proyector de imágenes. Cualquier foto o video que tenga en el teléfono se podrá proyectar en la pared o cualquier sitio que sirva como pantalla hasta el tamaño de 50 pulgadas con la calidad de imagen de la actual televisión análoga. Se estima que estará en el mercado dentro de tres o cuatro años, mientras se tratará de mejorar el tamaño de la proyección y el consumo de energía.